



C4Cだより

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン
 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-45-1-302
 TEL:06-6622-5645 / FAX:06-6621-7139
 メール:community_4_children@yahoo.co.jp
 HP:https://www.community4children.com/

タイとカンボジアに行ってきました！～タイ&カンボジア事業視察・帰国報告～

8月にタイとカンボジアに赴き、現地の状況を視察してきました。新型コロナウイルス感染症のため、2年半以上海外渡航できませんでしたが、その間も現地では感染症に気を付けながら事業を継続させ、新たな道も模索していました。どこへ行っても、「みんなは元気？コロナは？政治の状況は？」とお互いに近況報告が続き、無事を喜び合いました。コロナの影響で、様々な事業が中止や延期されましたが、今年に入り徐々に活動も再開されるようになり、現地の人々にも活気が出てきたように感じました。タイ・カンボジアで視察してきた事業を以下にご報告いたします！（加藤）

カンボジア / コミュニティ図書館建設プロジェクトがスタートします！

カンボジアでは、事業対象地であるいくつかの村や小学校を訪問しました。C4Cが支援したオンライン授業のためのインターネット関連機器の適切な利用を確認し、地域のために活動を行う子ども会のメンバーたちと話したり、彼らの活動に参加したり(地域のゴミ拾い)、いくつかの小学校の図書室の状態も視察させてもらいました。2020年2月にC4Cが小学校の図書室整備ワークキャンプを実施したレビートン村では、今も教師の方々がきちんと管理し、子どもたちが心地よく利用できるスペースになっていました。



また毎年雨季になると村自体が冠水し、小学校に行くことが困難になるチュロイスナオ村も訪問しました。8月から11月ぐらいまでの間、一部の子どもや教師は学校に行くことができません。そこでは小学校の教師と村人が一緒になって子どもたちのためにコミュニティ図書館を建設する計画を立てていました。コミュニティ図書館建設計画についてはチラシを見てくださいね。



今後、国を越えた交流もますます容易になっていくと思います。来年こそはスタディツアーを実施し、現地での活動を皆さんと一緒にできることを祈っています。

タイ / コミュニティ・マーケット(菜園市場)開催しています！



6月から有機農業を行う実験農場の敷地の一部を無償で借り、自分たちで生産し加工したものを持ち寄り、毎月第三土・日曜にマーケット付きワークショップを開催しています。

タイ・ノンメック村コミュニティ支援事業では、村人たちと一緒に共同意識を高め、地域の絆を強化することが子どもを支える基盤になると考えて現地での活動を支援してきました。『結』の伝統の復活、有機農業を通じた食の安全、健康や食を守る知識の継承、牛を地域内で循環させて飼うことで青少年の就学資金を補助する牛銀行システムなど、すべての活動が共通の関心を持つ人々のグループ・ネットワークづくりへとつながり、コロナ禍を経た今、それが市場開拓へと向かいました。



参加する村人のほとんどは「売る」こと自体が初めてでした。売り場の設置、価格設定、販売、片づけなどすべて売り手自身が行い、勇気を出して客寄せの声をあげたり、知らない人と語り合ったり、、、。ワークショップでは、買い手も一緒になり伝統のお菓子作りなどを体験し、音楽を楽しみました。ノンメック村と周辺村の住民だけでなく、通りすがりの人や研修などでつながりができた他県の農民なども多く集まり、今後の可能性も感じました。

安定した地域の持続的経済を確立するためには、生産性向上と収穫物を加工・商品化する力を身に付け、生産者と消費者をつなぐ安全な生産物を扱う市場へ発展させる必要があります。これからも地域の人々が考えた取り組みを応援していきたいと考えています。

／ 宮城 ／ 「防災レシピカレンダー2023」まもなく完成！

昨年春からプロジェクトを開始し、準備を進めてきた防災レシピカレンダーが間もなく完成します。

「食べることはいつでも・誰にとっても必要なこと。このカレンダーをお家にかけていただくことで、日常的に防災が目にとまり、普段からお家にある食材で・カセットコンロで簡単に作れて・災害時にも役立つレシピを普段の食卓のメニューに取り入れていただき、自然と防災力アップにつながれば…」との思いで作成してきました。

作成にあたっては、Food and Smile!(FAS/宮城学院女子大学ボランティアサークル)の皆さんにレシピや防災と食のワンポイントや「食」のおすすめ備蓄品リストを考案いただき、東六郷・東部かあちゃん'ず(仙台市若林区)の皆さんに東日本大震災当時の食に関する経験談や普段の家庭での調理の工夫などをお聞きしました。

準備段階ではFASの皆さんと何度も打ち合わせを行い、東六郷・東部かあちゃん'ずの皆さんにも試作段階のレシピをご試食いただきながら改良を重ねてきました。カレンダーに掲載するメニュー写真もFASのOG・大内美幸さんからアドバイスをいただきながら学生さんたちが撮影しました。

カレンダーの売上の一部は、Food and Smile!&東六郷・東部かあちゃん'ずの活動費として寄付いたします。ご注文方法等の詳細は添付のチラシからQRコードを読み取りのうえご覧ください。またぜひ周りの方にこのカレンダーのことをご紹介いただけましたら幸いです。(菅原)



／ フィリピン ／ ヘアケア&フットスパ研修を実施しました！



フィリピンでは、学校の対面授業の再開、マスクの着用や人が集う集会などに対する規制も少しずつ緩和され、コロナウイルス感染症流行前の環境に少しずつ戻ってきています。10月、保護者を対象にしたヘアケアとフットスパの技術研修を行いました。ヘアカラーやフットマッサージで生計を得ている保護者がトレーナーとなり、自身が学び習得した技術や経験を他の保護者に共有していただきました。



この数年、コロナ禍で保護者同士がじっくり交流する場をなかなか持てずにいましたが、保護者が自身のスキルや強みを共有することで、互いに高め合い、熱心に学ぶ姿がありました。当初の予定時間を大幅に延長し、次回の開催を希望する声があがりました。将来、保護者の生計に繋がっていくように、また、保護者の関係づくりをサポートすることを目指し、第2回の研修を予定しています。(山田)

代表の つづやき

夢や願望を持つことは大切なことだと思っています。しかし、どんなに目標を掲げても、日常の中では、一見地味で単純と思われるようなことをしなければならぬのです。時には「自分は夢に向かっているだろうか、近づいているのだろうか。」と感じて思い悩むことがあるかもしれません。

しかし、望む成果を見出すまでには、やはり地道に話し合いや改善の繰り返しなどの努力が欠かせません。

新型コロナウイルス感染症は世界中を揺るがし続けています。そのような中、私たちはオンラインで4ヶ国ミーティングと各国の取り組みに学ぶ意見交換をするオンライン情報交換の場を設けました。直接会えない中、果たして学び合えるのだろうか、各国の取り組みの工夫や苦労などが伝わり、他のプロジェクトのヒントになるだろうかと少々不安もありました。

実際には、毎回お互いの取り組みの大切さを知る機会となっていてます。今後、直接会うことの期待が高まっています。

各プロジェクトの目標達成は、最初からできるものではありません。地道な努力を通じ一歩一歩の積み重ねがあげてはじめてできるということ改めて感じている所です。